

◆平成26年度事業報告

平成22年度に策定した中期5ヵ年計画の最終年度として積極的な各事業展開を進め、収支面では税引前当期利益、未処分剰余金、自己資本比率ともに前年度を上回りました。

信用事業では定期貯金キャンペーンを積極的に展開。組合員のニーズに応えるため、全戸訪問を旨とし、普及活動を展開した共済事業は前年度以上の長期共済保有高を挙げ、伸長率では県下上位の実績となりました。

営農指導・販売事業では、重点品目であった紫水菜の新規共撰出荷や、枝豆の販路拡大、市内量販店の地場野菜コーナーの拡充など生産者の所得増加に取り組み、グリーンハウスを中心とした生産履歴の研修会による食への安心・安全、農業機械導入による高齢化対策及び後継者育成・支援など幅広く取り組みました。

購買事業では肥料・農薬・農薬資材等の低価格化や、品揃えの充実に取り組みました。資産管理事業でも都市型農業地域における物件の仲介業務などで実績を挙げる事ができました。

◆平成27年度事業計画

●都市型農業の確立

第二次農業振興計画の3年度目として、地域消費者への安心・安全な食料の提供はもちろん、「元気なお金の取れる農業」・「魅力ある農業」を実現させるため、直売事業の活性化、共撰共販体制の強化による農業所得の向上、後継者・担い手の育成に取り組みます。

●財務基盤の強化及び安定した収益構造の構築
先のない経済情勢等をふまえ、不測の事態にも揺るぐことのない財務体質の強化と安定した収益構造の構築を目指します。また地域密着型の信用事業を展開し、経営基盤の強化を図ります。

●リスク管理態勢の強化
将来リスクを勘案し、バランスの取れた収益構造と資産内容の構築に努め、定期的な運用チェック、融資審査体制、内部監査体制の充実を図ります。

●信頼され必要とされるJA業務知識
の向上、専門力のある人材の育成、コンプライアンス態勢の強化による不祥事の未然防止、総合的な保障を提



▲左から吉橋の石井さん、萱田町の斉藤さん、桑橋の白井さん

案する共済事業、健康診断や人間ドックなどの厚生事業等、様々な活動を通して、組合員・利用者のニーズに応え得るような、信頼され、必要とされるJAを目指します。

●合併50周年記念事業

JA利用者に日頃の感謝を込めて記念農協祭の開催や、JAと組合員・地域の皆様の50年の歩みを振り返る記念誌を発行します。さらに様々な手段で、対外的にJAの存在や管内農業の積極的なPR活動に取り組みます。

◆質疑応答

①不良債権の処理について、②新入職員の農業体験について質問・要望があり、藤代組合長、鈴木参事が①債権の回収に努め、②昨年度実施したJA祭への参加や、秋の米集荷の他に連続職場離脱等を利用して新入職員の農業体験実施を検討すると回答しました。



▲今日までの50年間の歩みを振り返り、将来への展望を誓った記念式典



▲左から山田部長、江野澤部長、都はるみさん、藤代組合長

都はるみ
コンサート

50周年記念式典のあとは、お待ちかねの「都はるみコンサート」！都はるみさんが登場すると、会場は大きな歓声と拍手が沸き起りました。

「ムカシ」からコンサートは始まり、ご本人が歌う懐かしい名曲の数々に酔いしれました。

途中、都はるみさんが舞台から降りて客席を歩きながら歌うというサプライズ演出も。この日しか味わえない素敵なコンサートとなりました。

藤代組合長から花束、女性部の江野澤眞利子部長からイチゴ、青年部の山田貴弘部長から野菜の詰め合わせを、都はるみさんへプレゼントしました。

<演目>

ムカシ/アンコ椿は恋の花/涙の連絡船/浮草ぐらし/さすらい小鳩/裏町ごころ/夕陽坂/ゆうがおの丘/アラ見てたのネ/ふたりの大阪/冬の海峡/浪花恋しぐれ/道頓堀川/大阪しぐれ/小樽運河/小さな春/ありがとうおかげさん/北の宿から/夫婦坂/おんなの海峡/千年の古都/好きになった人 全22曲